

わが家の住まいづくり… どんな暮らし方がいいのかな?

家づくりワンポイント・アドバイス



それなら設計力、提案力に優れた
ハウスメーカーに相談しよう!

さまざまな条件を考慮しながら、
ベストな住まいを提案できるのは
経験豊富なハウスメーカーがお
ススメです。

「広くて、ゆとりのある家」に住むか、「コンパクトで無駄のない家」を選択するかは悩むところです。誰でもゆとりをもって暮らせる家は理想かもしれません。住まいづくりには様々な条件や問題点があります。それらをよく考え、自分に合った家づくりを決断する必要があります。



家にいるのが楽しくなる
マイホームづくり始めましょう!

最近の住まいに対する考え方方に多少変化が見られます。今までのようにアクティブな生活だけでなく、家の中で過ごす時間を大切にしたいという家族が増えています。そこで家族が楽しく過ごせ、癒される楽園にする工夫をしてみましょう。



大人のプライベートルーム
小さくても快適な空間が出来る!

住まいのなかにプラス1部屋のゆとりをもたらすとしたらどんな部屋にしますか……。

一般的にはここにあげる「お父さんのための書斎」または「お母さんのための家事室」を設けることが多いようです。その他にはAVルームやホビールームなどをつくるケースもあります。



ペット同居で癒しの生活

岡山県は全国的にもペットを飼う人が多い地域です。動物と触れ合うことでその人に内在するストレスを軽減させたり、ペットを通じて精神的な健康を回復させることができます。

「なかなか土地の購入が難しいこと」「高齢化社会になり、親の介護が必要になったこと」などの理由から二世帯同居住宅に建て替えるケースが増えています。ただし、二世帯同居といつてもいろいろなカタチの同居があります。最近では分離型といわれる「二世帯同居住宅が増えています。一軒の家に必要な設備がすべて二つ付いていることです。そういうと無駄が多いようになります。しかし、親子関係が作れる場合もあります。同じ屋根の下に住んでいることに変わりはありませんか

事も大きなメリットです。子どもたちが独立したシニア夫婦の二人暮らしなら、機能の充実したコンパクトな平屋でも、快適で安全な暮らしができます。若い世代なら今支払っている家賃並みの支払いできることも可能です。経済的な配慮もこれから

広くてゆとりある住まいにあこがれる一方で、コンパクトで無駄のない家を選ぶのが理想です。もちろん、無駄に広い住まいを建てる人はいません。必要最低限の住まいで快適に暮らせるのなら、費用のかからない家を選ぶのが理想です。もちろん限られた敷地に建築する訳ですから、敷地が小さい場合には、必然的にコンパクトな設計が求められます。延床面積が小さくても機能的な住まいなら、快適さは変わりません。

また、「コンパクトな住まいならコストの負担が少ない」というメリットです。子どもたちが独立したシニア夫婦の二人暮らしなら、機能の充実したコンパクトな平屋でも、快適で安全な暮らしができます。若い世代なら今支払っている家賃並みの支払いできることも可能です。経済的な配慮もこれから

ら、お互いのプライバシーを尊重し合い、もしも困ったときには親子が助けあつて暮らせるというメリットもあります。

家は小さくとも
メリットは大きい

